

## 日本銀行法の再改正論議をめぐって

鐘ヶ江 毅

本報告の狙いは、新日本銀行法の施行以来、約4年を経過した今日の時点で、日銀の金融政策を回顧すると共に、最近、一部国会議員が提起した日銀法改正案とその取組み方について吟味し、さらに、この機会に、将来の再改正に備えて、改めて問題点を指摘することにある。

新日銀法施行後の金融政策の推移を見ると、いわゆる「ゼロ金利政策の導入」（平成11年2月）、政府の反対を押切って決定した「ゼロ金利政策の解除」（平成12年8月）および実質的な「ゼロ金利政策への復帰」（平成13年2月）措置が際立っている。「ゼロ金利政策の解除」決定に際しては、政府は、初めて、日銀法第19条第2項に基づく議決延期の請求を行ったが、政策委員会は、同条第3項に基づいて、これを否決した。「解除」に関しては、多くの議論があり、一部国会議員は、政府と日銀間の政策整合性の強化と物価水準目標の導入を図ることを主目的とした日銀法改正を目指して研究会を組織し、その改正案が作成された。

改正点の第1は、日銀に対して、その決定する金融政策が、政府の経済政策の基本方針と整合的になるように義務付け（第4条）、さらに、第19条第3項を廃止して、政府側出席者の求めに応じて1回の議決の延期をしなければならないこととした。政府の議決延期請求権が現代の国際基準に合わないものであることに加え、この変更は、第3条が定める「日銀の金融政策における自主性（独立性）」と明らかに矛盾するものである。

第2は、政策委員会の決議事項として、第15条に「物価水準の目標（その達成の期間を含む）の決定又は変更」を新設し、併せて、市場調節手段としての「手形又は債券」を「有価証券」に変更し（第15条第4項および第33条第3項、「物価水準目標」についての議論は、別の場に譲る）、さらに、日銀自らの判断で外債の購入ができることとする（第40条）ものである。わが国の証券取引法によれば、「有価証券」には、債券・株式などの他、広範なものが含まれており、この修正は、日銀（究極的には国民）のリスク負担が無限に広がることとなるので、適切であるとはいえない。また、日銀に対する外国為替の売買についての権限委譲は、外債購入問題を超越する重要な変更を意味し、十分な検討を加える必要がある。

第3は、政策委員会の構成メンバー（第16条）から日銀の副総裁2名を排除し、7名に削減する提案である。新日銀法では、副総裁は、本来、総裁を補佐する者ではあるが、「政策決定と業務執行との有機的な繋がり確保のため」、日銀内部者が過半数を超えないものとして、メンバーとして加えた現行法の精神は尊重さるべきであろう。

新日銀法には、上記問題とは別に、既に指摘されているように、中央銀行の本質的機能や独立性の観点から見ると、幾つかの問題点が存在している。例えば、日銀の法人格が不明確である（第6条）、日銀の資本金（第8条）、外国為替の売買（第40条）、経費の予算の（第51条）など、前回改正において先送りされた、あるいは十分検討することができなかった諸問題について、将来、適切と考えられる時期に、前回改正の手続きに法り、総理および財務大臣の諮問機関等の場において、公正かつ十分な論議を経た上で、改正に取

り組むべきある。日本銀行法は、「金融に係わる憲法」ともいうべき重要な基本法であるので性急な改正は避けるべきであろう。

【質疑応答】

1 . 中央銀行の完全な独立性はあり得るのか。なぜ独立性が必要なのか。(清水啓典氏)(回答)「三権」は分立しており、中央銀行の完全な独立性はあり得ない。中央銀行の独立性は、政府ないし議会からの独立性である。日銀の場合もそもそもその創立理由は、国の財政と銀行券の発行を切り離すことにあった。すなわち政府債務の貨幣化を避けることに最大の理由があった。さらに、中央銀行の独立性は、一国の通貨は、本来自由な貨幣契約によって生まれ、何人もその自由を侵すことができず、政府によってさえもこれを勝手にすることができないという「不可侵性」(S . H . フランケル「貨幣の哲学」)に根ざすものである。

2 . インフレーション・ターゲット論についての見解。(島村高嘉氏)

(回答)インフレもデフレも貨幣的現象であり、中央銀行は貨幣量を操作可能とする前提に問題があり、また、金融政策のみで物価の下落を防ぐことはできない。

3 . 日銀のこれまでのパフォーマンスについて(三木谷良一氏)

(回答)今日の性急な日銀法改正の議論は、いかに中央銀行の独立性についての国会議員を含む国民の理解が不十分であるかを物語るものである。日銀のこれまでの努力も必ずしも十分であったとはいえない。例えば、日銀の刊行物においても日銀法改正の経緯が簡単に説明されているだけであり、独立性に関して国民へのわかりやすい説明努力が必要である。